

# ( 公民科 ) 学習指導 (活動) 案

【実践者】

【関連する SDGs】 (10、11、16、17)

氏名 米家 直子

学校名 北海道池田高校

学年 (人数) 3 学年 12 名

実施教科 (領域) 公民科・時事問題研究



## 【実施概要】

|   |
|---|
| 1. 単元名 (活動名) : 現代の雇用・労働問題 (私が共生社会を築いていく)  |
| 2. 単元の目標 (評価規準を意識して設定) :<br><b>【知識・技能】</b><br>地域社会で生きる外国人労働者の日常をテーマにして、共生社会を築いていくためにはどのようなことが必要かを理解する。<br><b>【思考力・判断力・表現力】</b><br>より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることについてグループ学習などを通して多面的に考察し発表する。<br><b>【学びに向かう力・人間性】</b><br>多くの人とのパートナーシップで共生社会を構築しようとしている。 |

| 3. 単元計画 (全 2 時間) |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| 時                | ねらい   | 学習活動  | 資料など  |
| 1<br>・<br>2      | 外国人労働者が暮らす地域で共生社会を築くために、自分がどのような言動をとることができるのかを表現する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人労働者が地域で生活している現状を学ぶ。</li> <li>様々な視点から外国人労働者の課題を知る。</li> <li>グループ学習を通して視野を広げ、考察を深める。</li> <li>自分が考察した内容を整理し表現する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>人物カード</li> </ul> |

| 4. 本時の展開 (連続2時間)  |   |  |   |
|---|---|--|---|
| 本時のねらい: 外国人との共生社会について自分ごととして考え具体的に自分がどのような言動を選択できるのかを説明できる。 |   |  |   |
| 過程・時間   | 教師の働きかけ・発問および学習活動   | 指導上の留意点 (支援)   | 資料 (教材)   |
| 導入 (10分)  | 1 興味・関心を広げる<br>①クイズに答える<br>「数年前に、ある会社で起きたことを紹介します。最後にクイズを出すのでよく聞いてください」<br><br>「ある日、社長のスマホにたくさんの労働者からラインがきました。ラインには『みんなは仕事を辞めます』『みんなは仕事を休みます』」<br>「次の日、本当にたくさんの労働者が工場にきませんでした。労働者たちは、寮の光熱 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・答えやすく、かつ授業のテーマに関心を持てる導入から始める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul> |

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p>費が7000円だったのに、いきなり説明もなく15000円に値上がりしたことに怒っていたのです。そして社長に話し合いを求めているのですが、社長は無視してきたのです」<br/>「この労働者は〇〇人です」<br/>「さて、〇〇に入るのは？」</p> <p>&lt;生徒の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国人</li> <li>・ベトナム人</li> <li>・東南アジアの人？</li> </ul> <p>・生徒の反応を拾って、どうしてそう思ったのかを聞き、実際に保護者が外国人労働者と働いているケースなどあれば、そのことについて話してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的に、ベトナム人が働いている地域の企業名をあげて、将来、自分も共に働く可能性が現実にあることに気づいてもらう。</li> <li>・身近な話題であることを教室で共有する雰囲気を作る。</li> </ul> <p>②新聞報道を読み聞き、問いを考える<br/>外国人労働者に関して、どのような課題があるのか政府が認識しているかを理解する（課題があることを明確に理解する）。</p> <p>「7月にある新聞で紹介された記事を読みます。その後、いくつか質問します」<br/>「政府は、外国人技能実習制度の本格的な見直しに乗り出す。実習先で暴行を受けるなど、人権侵害が後を立たないからだ」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「さて、暴行以外にどんな人権侵害があると思いますか」</p> </div> <p>&lt;生徒の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安い賃金</li> <li>・長い労働時間</li> <li>・パスポートを取り上げるケースがある</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「今、皆さんが言ってくれたことをはじめ、暴行などどうして人権侵害が続くのでしょうか？侵害された外国人はどうして誰かに相談しないのでしょうか？」</p> </div> <p>&lt;生徒の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人じゃない人を下に見ている</li> <li>・日本人みたいに扱わなくていいと思っているかもしれない</li> <li>・外国人労働者は、込み入った話だと言葉が通じないから、困ったことがあっても伝えられない</li> <li>・侵害を受けても相談するところがないから</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・答えはベトナム人十勝では飲食店や農場などでベトナム人が働いている。</li> <li>・地図を用意しておく、ベトナムをさらに具体的に認識できるようにする。地図を用意しておく、他の生徒の回答にも対応しやすい。</li> <li>・生徒が出してくれる情報を共有することで、外国人労働者に関する情報格差を無くすように努める。</li> </ul> <p>・2022年7月29日<br/>北海道新聞「技能実習制度、本格見直しへ 政府、有識者会議で議論」より抜粋</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「特定技能」「技能」「技能実習」など様々なパターンがあるので、その内容はワークシートに記載して、誤解を未然に防ぐ。</li> </ul> |
|---|--|--|

|                           |   |   |               |
|---------------------------|---|---|---------------|
| <p>展開<br/>①<br/>(50分)</p> | <p>・そこで働くしか選択肢がないから我慢する<br/>・弱い立場だから<br/>・簡単に自分の国に帰ることができないから</p> <p>「今、みなさんが発言してくれた通り、受け入れる側に課題がありそうですね」<br/>「外国人労働者は高額の借金を背負って日本にきている人もいますね。実習生の場合は、会社を変更したりできないなど厳しいルールもあるそうです」<br/>「しかももちろん、外国人労働者と共生していこうと考えている人々もたくさんいます」</p> <p>2 学習のねらいと目標を理解する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「授業の最後には「私が外国人労働者と共に働く時」もしくは「私が外国にルーツをもつ生徒と共に学ぶ時」というテーマで、自分で3つのポイントを考えて言葉にしましょう予定です」<br/>「卒業後、直面する状況に今から準備をしましょう」</p> </div> <p>「自分一人で考えるには限界があります。いろんな人の考え方や表現方法など知恵を共有して、この教室も豊かな共生社会にしていきましょう」</p> <p>3 様々な立場から外国人労働者の課題を知る</p> <p>「4人グループを作ってください。4人は同じ町に住んでいると仮定します」</p> <p>「それでは今から『人物カード』を選び、その人になりきって、4人で共生社会を築く練習をします」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに、人物カード4枚を配る（3人グループの場合は①か②どちらかをカット・カードは点線以下切り取ってある）</li> <li>①インド人Aさん</li> <li>②ベトナム人Bさん</li> <li>③地域おこし協力隊のCさん</li> <li>④地域の高校生のDさん</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「それぞれ担当する人を決めて、その人のカードを黙読してください」<br/>「同じ町に住んでいる別の人物カードを持っている人に対しては、自分のカードの情報は最初は秘密にしてください」</p> </div> | <p>・可能な範囲でジェンダーバランスに留意する。<br/>・人物名はそれぞれ自分で決める。</p> <p>・人物カードは、下が切り取られている。後半に追加の情報を受け取る。</p> | <p>・人物カード</p> |
|---------------------------|---|---|---------------|

|  |  |                                    |
|--|--|------------------------------------|
| <p>「では、同じ人物カードを持っている別の町の人と2～3人のグループを作って、『この人はどんな人か』『この人の抱えている悩みはどうすれば解決できるか』について、話し合ってください。時間は3分です」</p>  | <p>・理解力の高い生徒がわかりやすい表現で、その人物についてイメージを話してくれば、文字で理解するのに時間がかかる生徒もここで、理解が進むようになる。</p> <p>・質問事例</p> <p>お休みの日は何をしていますか</p> <p>お休みの日はどこに行きますか</p> <p>好きな食べ物はなんですか</p> <p>趣味は何ですか</p> <p>お仕事は何をしていますか</p> <p>悩みは職場（家庭）のことですか</p> <p>友達関係の悩みですか</p> <p>誰かから嫌なことをされていますか</p> <p>お金の悩みがありますか</p> | <p>・ミッションカード</p> <p>・企画書ワークシート</p> |
| <p>「それでは、自分の最初のグループに戻り、その人になりきって、簡単な自己紹介をしてください」</p> <p>「名前を決めて、名札をつけましょう。得意なことや好きな料理をひとこと添えましょう」</p> <p>「悩みと背景は、まだ話さないでください」</p>  |  |                                    |
| <p>「それでは質問タイムです。実はそれぞれが悩みを抱えています。1人3回、質問できるので、どんな悩みを抱えているか聞いてみましょう」</p> <p>『最初から悩みは何ですか/困っていることは何ですか』という直接的な質問ではなく、質問事例を参考に聞いてあげましょう。いきなり土足で人の心に踏み込むのではなく、徐々に仲良くなっていきましょう」</p> <p>「まずインド人に質問します。インド人の左側に座っている人から1つずつ質問し、3周しましょう」</p> <p>「外国の人に質問する時は、やさしい日本語を使いましょう」</p> |  |                                    |
| <p>「答える人は人物カードに書いてある『背景』を参考にいろんな背景についての話をしてあげてください。自分なりに背景から考えられる内容で、その人になりきってどんどんお話してください」</p> <p>「それぞれ3周ずつ、4名とも終わったら、地域おこし協力隊の人には『ミッションカード』を渡しますので取りに来てください」</p>   |  |                                    |
| <p>それでは、メンバーと協力し合い、50分でミッション達成してください</p>   |  |                                    |
| <p>ミッションの内容（カードに記入しています）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4人の悩みが解決に向かうイベントやプロジェクトを他の3人と相談して企画してください（必ず全員の意見を取り入れてください）</li> <li>・「何のために」「どのように」「どんなことを」するイベントやプロジェクトなのか明確にしてください</li> </ul>   |  |                                    |

|                      |  |  |  |
|----------------------|--|--|--|
|                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントやプロジェクトの企画書と、必要であれば会場図を書いてください。企画書は例のものを使ってもいいですし、オリジナルでもかまいません</li> <li>・町の名前を決めてください</li> </ul> <p>ミッションを理解してから20分ほど経過後「それでは追加情報がありますので、取りに来てください。最初に渡した人物カードの下につなげてみてください」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「追加情報」をそれぞれの生徒にわたす（人物カードの点線以下を渡す）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動時間は発表も含めて70分程度とするが、状況を見て調整する。企画書の完成が目的ではなく、完成までの過程を経験することが目的であり、その経験を丁寧に振り返る時間を確保するためにタイムマネジメントを行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人物カード追加情報</li> </ul> |
| <p>展開②<br/>(20分)</p> | <p>4 イベントプランを発表する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>「それでは地域おこし協力隊の方が中心となり発表してください」</p> </div> <p>「他の人の発表を聞いて、より豊かな視点や発想を自分の知恵にしていってください」<br/> 「本当にイベントやプロジェクトをやってみたいと考えている生徒は、積極的に質問して、実現化を考えましょう。その際は、私もお手伝いさせていただきます」</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・追加情報を提示することで、煮詰まってしまったグループや視野が狭くなったグループにさらなる考察を促す。</li> </ul>  |  |
| <p>まとめ<br/>(20分)</p> | <p>5 振り返り</p> <p>①同じ町の人たちではなく、それぞれ同じ立場の人でグループを作り、振り返りをする<br/> ②その人の立場や思いに立って感想を共有する。共有した感想を発表してもらう</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の中には「～しよう」という表現でなく「～しなければならない」という限定的な表現をする生徒もいる。そういった生徒は、考察が広がっていかないこともあるので、留意してサポートする。</li> </ul>   |  |
|                      | <p>6 自分ごととして考え、表現する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>「それでは3つのポイントに絞って書いて見ましょう」</p> <p>『私が外国人労働者と共に働く時』もしくは『私が外国にルーツをもつ生徒と共に学ぶ時』というテーマで、自分で3つのポイントを考えて箇条書きにしてください」</p> </div> <p>「この後、みなさんのワークシートを廊下に貼っておきますので、お互いの知恵をさらに共有してください」</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「共生社会」という言葉は、多くの場合、マジョリティがマイノリティの存在に気がついた時に使われる言葉かもしれない。マイノリティは、多くの場合、同じことを説明する時「人権が保障される社会」という表現を使うのではないか。3つのポイントを絞る時には、人と人は対等であるということに意識を持って取り組めるように促す。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul>    |

|   |  |
|---|--|
| 5.評価規準に基づく本時の評価（評価方法）   |  |
| <p>【知識及び技能】事実を基に多面的・多角的に理解できたか</p> <p>【思考力・判断力・表現力】気がついた内容や考察した内容を、ペアワークやグループワークで発言しているか</p> <p>【学びに向かう力・人間性】「私が外国人と共に働く時・学ぶ時」について具体的に考え、3つのポイントに整理し、表現できたか（ワークシート）</p>   |  |
| 6.資料および外部との連携   |  |
| <p>〈引用〉</p> <p>北海道新聞 2022年07月29日「技能実習制度、本格見直しへ 政府、有識者会議で議論」</p> <p>〈協力いただいた方々〉</p> <p>浦河で拝聴した中標津町経済部経済振興課の神原さんのご講演</p> <p>外国にルーツを持つ学生、細田さんのご講演</p> <p>地域おこし協力隊の稲岡さんへのインタビュー</p> <p>・JICA 帯広より、生徒の学習意欲を引き出すために、ベトナムなどで使用されている衣服をお借りして生徒が着用した</p> |  |

### 【自己評価】

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| 苦勞した点                          | 「外国人労働者」のロールプレイを生徒が意欲的に取り組みたいと感じるためには、どのような工夫ができるかという点に苦勞した。JICA 帯広より貸していただいた各国の衣装や、人物設定を具体的にするなどしたことで「楽しんでやってみよう」という気持ちが引き出せたのではないかなと思う。  |
| 改善点                            | 言葉が通じないという設定だったため、議論が深まらない状況で話し合いのグループ活動を行うことになった。そのため対話内容が貧しくなってしまった。指導案の授業を行ったあと、翌週に1時間とり、言葉が通じるという設定で、グループ活動を追加で行った。その結果、生徒の対話が弾み、さらに具体的なアイデアが出された。   |
| 成果が出た点                         | 言葉のコミュニケーションに困難さを感じる擬似体験ができたことで、外国人労働者や外国にルーツを持つ生徒の立場に立って物事を考えるまなざしが養えた。   |
| 学びの軌跡<br>（児童生徒の反応・感想文・作文・ノート等） | 生徒がワークシートに書いた3つのポイントは、以下のようなものだった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人労働者と共に働く時：「ゆっくり仲良くなる」「やさしい日本語を使う」「まず相手を理解するという姿勢を持つ」「困っていることがあるかもしれないという気持ちで接する」「言葉が通じない怖さを理解する」</li> <li>・外国にルーツを持つ生徒と共に学ぶ時：「違いではなく自分との共通点を見つける」「相手の国の食や音楽などに興味があることを自分から示す」「相手の言葉を少しでもいいから学ぶ」「余暇の時間に一緒に遊ぼうと誘う」</li> </ul> 生徒の文章に「～してあげる」という表現が少なく、相手 |



|                            |  |
|----------------------------|--|
|                            | と対等な立場で考えていることや、自分ごととして書いている様子がうかがえたことがとても良かったと思う。   |
| 授業者による自由記述                 | 授業の冒頭で、保護者の職場に外国人労働者がいるという話題を生徒から引き出したため、生徒にとって自分ごととして授業内容を捉えた上で、ロールプレイのアクティビティに入れたことが非常に良かった。また、授業者である自分自身が研修を通して得た見聞があるので「必ずみなさんが直面する課題です」という姿勢を自信を持って貫けたことも大きかったと思う。やはり自分が実際に外国人労働者の方や外国にルーツを持つ学生にインタビューした機会を得られたことが、教材作りや授業展開に強く影響したと思う。 |
| 学校内外で SDGs 学習・授業実践を広める取り組み | 地域の方を対象とした高校主催の開放講座などで実施したり、3年生だけでなく2年生にも実施したりしてみたい。2年生であれば、授業中に検討したイベントを在学中に現実に行える時間的余裕があるかもしれないので、よりリアルな考察を追求できる授業になる可能性があると思う。  |

# 1 インド人Aさん

## 役割カード

日本で働いていた夫が、私をここに連れてきてくれました。外国で暮らすのはとても不安でしたが・・・ここは安全。空気もキレイで子どもを安心して育てられる。医療技術も高いしね。子どもも日本生まれだから、日本語が喋れて安心。

幼稚園や保育所にはヒンディー語がわかる先生がいないから、行かせられなかったけど小学校は無事に入学しました。義務教育だから、いろんなサポートをしてくれるんだろうって思っています。

悩み：まったく日本語がしゃべれないから、学校からのお便りの内容がわからない。特に学校行事の事がわからない。

### 背景

- ・自分が小学校までしか行っていないし、運動会のような行事はインドにはない。
- ・行事のお便りの持ち物が理解できない。「鉢巻とゼッケンはクリーニングして返却」などと書いてあるが、意味がわからない。
- ・とりあえず、子どもが日本語をしゃべることができるのでなんとかなると思う。
- ・宗教上食べてはいけないものがあるが、給食ではどうなっているか心配。
- ・学校の先生にどうやって相談したらいいのかわからない。
- ・これから学校教育でどの程度お金が必要かがわからない。
- ・他にもインド人は50名近く暮らしていると思うが、車がないので会いにいけない。時々スーパーで会うインド人がいるが、男性がほとんど。子どもの話題にならない。
- ・ヒンディー語しか話せない。

### インド人Aさんの追加情報

・他の外国人の人とも知り合いになりたいが、どこにどんな人がいるのかわからない。言葉の壁があって踏み出せない。町の施設のどこかに1箇所でもヒンディー語の表示があれば、それが手がかりになるのにと思っている。

#### 運動会のお知らせ

1日 時 ○月○日 小雨決行  
2持ち物 鉢巻き お手ふき 水筒 レジャーシート

鉢巻きとゼッケンはクリーニングして、翌週中に学級担任まで返却してください。

.....  
不明な点は、018-442-5321（職員室までお問合せください）



## 2 ベトナム人Bさん

## 役割カード

友達から誘われて、ここに働きに来たんだ。契約は、エージェント（入国する際の仲介業者）がやってくれているから、あんまり詳しくはわからないよ。日本語はわからないから。地域おこし協力隊の人が色々手続きのやり方を教えてくれるし、相談にも乗ってくれるから安心だよ。生活は便利だし、たくさん稼いで、故郷の両親にお金を送れるから幸せだよ。

悩み：仕事が終わった後の時間がつまらない。遊びに行く場所もわからないし、仕事以外の友達もいないし。地域おこし協力隊の人が時々、イベントに誘ってくれるけど、知らない人ばかりだし、イベントの内容も自分に向いているように感じない。

### 背景

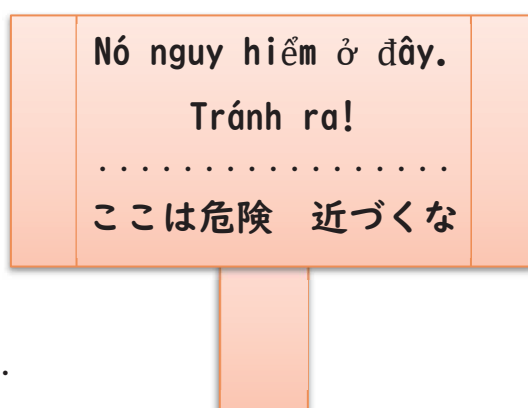
- ・通帳を雇用主が管理していて、自分が自由になるお金の額がわからない。
- ・入国する際の仲介業者（エージェント）に逆らって、帰国させられた友達がいるし、賃金のことでも質問したことをきっかけに嫌われてしまった友達もいる。そういう友達と一緒にいるとエージェントに嫌われてしまうのではないかと不安。
- ・もし仕事を辞めさせられたら、社宅からも出て行くことになる。
- ・同じ職場にもう一人ベトナム人が働いている。この町には、他にも20名ぐらいベトナム人がいるそうだが、どこにいるのかわからない。
- ・車を持っていないし、JRやバスの乗り方がわからない。
- ・道を歩いても誰も挨拶してくれないから、職場以外の場所は怖い（自分からどのように挨拶すればいいのかわからない）。
- ・英語は話せる。

.....

### ベトナム人Bさんの追加情報

・本当は日本語を習いたいが、誰にも言い出せない。英語もできないくせにと思われている気がする。

いつも「英語できる？ あ、できないんだ・・・」と言われるので。



あなたが、上のベトナム語しか読めなかったら・・・

### 3 地域おこし協力隊（日本人）Cさん

私の地域には、外国人労働者の方が約80名もいます。急激な人口減少と労働人口の高齢化が進んでいるからです。外国人労働者の方が安心して楽しく働ける地域を作りたいと思っています。外国人労働者のご家族にも安心して生活していただけるようにサポートすることも大切です。私は、地域イベントの担当もしています。これまで、地域資源を若い世代にアピールするイベントをしてきました。

悩み：外国人労働者から、ブラック労働について相談される。低賃金やハラスメントなど。労働基準監督署に相談するように勧めても「自分がそんなことをしたら、仕事を辞めさせられます。住み込みで働いているから、仕事を辞めさせられたら、住む場所もなくなります」と。どうしたらいいのかわからない。  
個人情報なので、誰に伝えていいのかもわからない。

#### 背景

- ・地域おこし協力隊の任期は3年（現在2年目）。
- ・ヒンディー語と英語がしゃべれるが、労働法の知識がない。
- ・地域イベントの担当（イベントには予算もつく）だが、いろんなイベントを開いても、いつも来る人は少数で同じメンバー。（これまで開いたイベントは「地域の地名を探ってみよう（アイヌ語講座）」や「新しい地域のお土産を一緒に考えませんか」など）



日高管内の労働基準監督署のようす。何か気が付くことはありませんか？

#### 日本人Cさんの追加情報

- ・イベントに来てくれる人から、「静岡県浜松市では外国人と一緒にイベントを企画しているらしいよ」という情報をもらう。

## 4 地域の高校生Dさん 役割カード

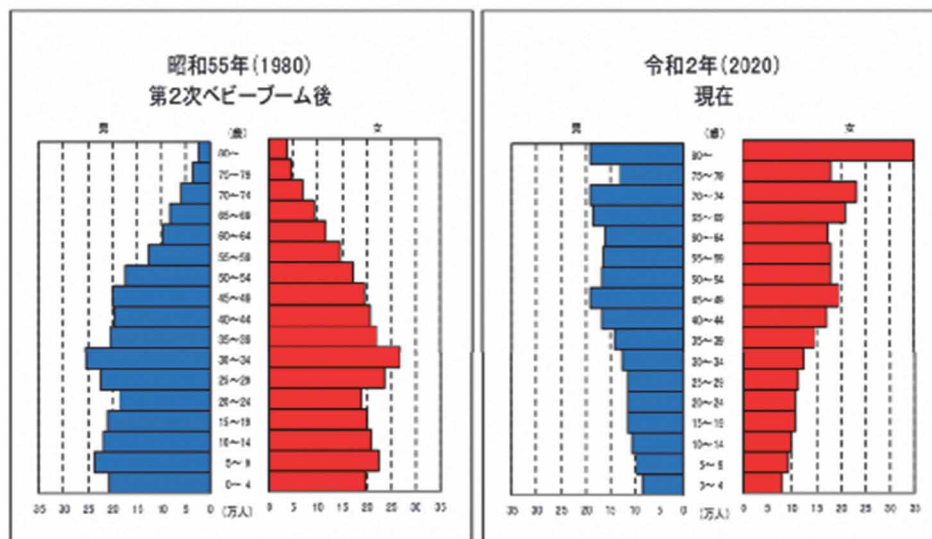
小学生の妹から相談された。「私のクラスにインド人が転校してきた。その人は、日本語はしゃべれるけど行事になるといつも休む」「行事に来てもらって一緒にお弁当を食べて、もっと仲良くなりたいけど行事に来られない理由は教えてくれない」と悲しんでいる。できれば妹を助きたいけど、俺には俺の悩みがある。

悩み：生徒の数が少なくなってきて、今までみたいに盛り上がる学校祭ができなくなった。生徒会執行部として、なんとか新しい企画をしたいが、全くアイデアが湧かないので苦しい。

### 背景

- ・優しい妹のことを大切に思っている。
- ・このまま自分の地域の人口がどんどん減って行くことが不安。
- ・高校の規模もどんどん小さくなって来ていて、行事の規模も縮小していき、寂しさを感じている。
- ・英語は少し話せる。

北海道の人口ピラミッド 北海道HPより抜粋



### 地域の高校生Dさんの追加情報

- ・他の執行部の生徒から、学校祭を地域の祭りやプロジェクトに発展させたらどうかという意見をもらう。
- ・地域には夏祭り（浴衣で盆踊りをする・屋台・花火）、秋祭り（収穫したものを安く売買する・地域の方が主催する音楽コンサート）がある。図書館ではインドやベトナムの本をそろえて、展示イベントもやっている。

### 1 ねらい

地域社会で生きる外国人労働者の日常をテーマにして、共生社会を築いていくためにはどのようなことが必要かを理解する。より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることについてグループ学習などを通して多面的に考察し発表する。多くの人とのパートナーシップで共生社会を構築していくことについて自分の考えをまとめる。

### 2 授業の流れ (2時間)

- (1) 全体でクイズや質問に答えます (10分)
- (2) グループ活動を楽しみます (50分)
- (3) 全体で視点やアイデア・考察したことを共有し振り返りをします (20分)
- (4) グループで振り返りをします (10分)
- (5) 「私が外国人労働者と共に働く時」もしくは「私が外国にルーツをもつ生徒と共に学ぶ時」にどのようなことを留意すると良いのかを3か条にまとめます (10分)

### 2 導入クイズ

ある日、社長のスマホにたくさんの労働者からラインがきました。ラインには『みんなは仕事を辞めます』『みんなは仕事を休みます』と書いてありました。

次の日、本当にたくさんの労働者が工場にきませんでした。労働者たちは、寮の光熱費が7000円だったのに、いきなり説明もなく15000円に値上がりしたことに怒っていたのです。そして社長に話し合いを求めているのですが、社長は無視してきたのです。

クイズ この労働者はどこの国の人だと思いますか？

### 3 記事の紹介

技能実習制度、本格見直しへ 政府、有識者会議で議論 北海道新聞 2022年07月29日

古川禎久法相は29日の閣議後記者会見で、外国人技能実習制度の本格的な見直しに乗り出す考えを表明した。実習先で暴行を受けるなど人権侵害が後を絶たないといった問題点を挙げ「制度の趣旨と運用実態が乖離せず、整合する」ことが必要だと強調した。政府は年内にも有識者会議を設け、具体的な制度改正に向けた議論を進める方針。

古川氏は今年2月から勉強会を開き、専門家や外国人支援団体の代表ら10人超から意見聴取。「人づくりによる国際貢献という制度の目的と、人手不足を補う労働力として扱う実態が乖離している」と指摘されたという。会見で「長年の課題を歴史的決着に導きたい」とした。

- クイズ
- ①暴行以外にどんな人権侵害があると思いますか
  - ②どうして人権侵害が続くのでしょうか
  - ③侵害された外国人はどうして誰かに相談しないのでしょうか

### 4 補足情報

#### ①外国人労働者について

いろんな働き方があります。例えば「特定技能」や「技能」という扱いで入国する労働者は、単純労働ではなく、持っている技能を生かして日本の労働者不足を補ってくれている人たちです。長く住んだり、家族と滞在することも可能な場合があります。例えば日高地方では、乗馬の技能を持つインド人労働者がいます。「技能実習」という扱いの方は、日本で技能を身につけるために来る方です。期限が決められていたり、家族を連れて来ることができない等の制限があります。例えば十勝地方には、農家さんに技能実習に来るベトナム人がいます。

労働基準法は、どちらの場合にも適用されます。しかし、時間や休日については、農業や畜産業では適用除外とされています(労働基準法41条)。

多くの外国人労働者は仲介業者(エージェント)に手続きをしてもらい入国します。しかし労働

契約は、雇用主と結ぶので、賃金や解雇などでトラブルがあった場合、雇用主と調整することになります（労働契約の相手はエージェントではなく雇用主です）。

## ②やさしい日本語について

日本で暮らす外国人の人たちにとってわかりやすく聞き取りやすい日本語を指します。例えば「避難してください」ではなく「逃げてください」などです。

## 5 共生社会ゲーム

このゲームを楽しむためには、その人物になりきりましょう。それぞれの人物は、自分とは異なる文化を持つ人です。丁寧に理解しあいゆっくり仲良くなりましょう。

（宗教や習慣・仕事内容など、ゲームの途中でどんどん調べ学習をしましょう）

### <参考>

名前の例 ベトナム人男性、女性どちらもある名前

Anh (アイン/アン) 英 Duong (ズオン/ユオン) 陽 Khánh (カイン/カン) 慶  
Kim (キム) 金 Ngọc (ゴック) 玉 Nhã (ニャー) 雅 Phương (フオン) 方/芳

名前の例 インド人

Aayushi (アユーシ) Damini (ダミニ) Aditi (アディティ) Darsha (ダーシャ)  
Chaitali (チャリタリ) Deeksha (ディークシャ)

### 質問事例

お休みの日は何をしていますか お休みの日はどこに行きますか 好きな食べ物はなんですか  
趣味は何ですか お仕事は何をしていますか 悩みは職場（家庭）のことですか  
友達関係の悩みですか 誰かから嫌なことをされていますか お金の悩みがありますか

## 6 イベント企画書作成（別紙に手書きしてもいいですし、データ作成でもOK）

以下の内容を企画書に盛り込んでください（必要に応じて会場図も書いてください）

①そのイベントは何のためにするのか（目的）

②どのように行うのか（参画方法や協働体制など）

③どんなことをするのか（何をするのか）

※時間があるグループは事前・当日の分担（広報・渉外・設営・司会・片付け等）やいつ・どこでも考えてみましょう

メモ

## 7 振り返り

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |

8 まとめ 3つのポイントに絞って書くことで、考察した内容を整理してみましょう。

「私が外国人労働者と共に働く時」もしくは「私が外国にルーツをもつ生徒と共に学ぶ時」というテーマで、（どのようなことに留意するのか）自分で3つのポイントを考えて箇条書きにしてください。

このまま印刷して、張り出しますので、丁寧な字で書いてください。選んだテーマに○をしてください。

( ) 私が外国人労働者と共に働く時 ( ) 私が外国にルーツをもつ生徒と共に学ぶ時

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |

#### 9 評価の観点

【知識及び技能】 事実を基に多面的・多角的に理解しようとしているか

【思考力・判断力・表現力】 気がついた内容や考察した内容を、ペアワークやグループワークで発言しているか

【学びに向かう力・人間性】 「私が外国人と共に働く時・学ぶ時」について具体的に考え、3つのポイントに整理し、表現しようとしている（ワークシート）